



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年5月8日

上場会社名 株式会社 京都ホテル 上場取引所 東
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平岩 孝一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)森下 一典 (TEL)075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	2,479	5.0	△73	—	△161	—	△106	—
25年12月期第1四半期	2,360	△0.6	△47	—	△168	—	△116	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△10.34	—
25年12月期第1四半期	△11.38	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	18,750	1,756	9.4
25年12月期	19,001	1,899	10.0

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,756百万円 25年12月期 1,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	3.00	3.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,244	3.9	206	51.7	29	—	11	—	1.07
通期	10,774	2.8	500	26.2	140	—	60	—	5.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年12月期1Q	10,389,000株	25年12月期	10,389,000株
26年12月期1Q	59,739株	25年12月期	59,739株
26年12月期1Q	10,329,261株	25年12月期1Q	10,279,688株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善に加え、消費税増税前の駆け込み需要もあって、個人消費に盛り上がりが見られたほか、公共投資の増勢持続等から緩やかな回復傾向を辿りました。京都のホテル業界におきましても、個人観光客、外国人宿泊客ともに入込増が目立ち、また料飲需要も概ね堅調裡に推移いたしました。

こうした中で、当社では、宴会部門が謝恩会、展示会関係の利用減により、前年同期比減収を余儀なくされましたが、一方、昨春実施いたしました最高層階「エグゼクティブフロア」の改装効果が顕著にみられ、宿泊部門は前年同期を2割以上上回る増収となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,479百万円(前年同期比118百万円増)となりました。一方、収益面では、従業員への一時金支給(消費税増税をにらんだ実質賃金維持が主目的)を実施したことのほか、食料原価や水道光熱費の出費増等が高み、経常損失161百万円(前年同期は経常損失168百万円)、四半期純損失106百万円(前年同期は四半期純損失116百万円)ともにほぼ前年同期並みにとどまりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

宿泊部門

京都ホテルオークラの宿泊売上高は、宿泊客利用が順調に増える中でとりわけ外国人旅行客、国内エージェント経由の個人客が増したこともあり、前年同期比124百万円増となりました。

また、からすま京都ホテルにおきましても、国内エージェント経由の個人及び外国人旅行客が前年を大きく上回ったことに加え、法人の直接予約も順調に推移した結果、売上高は前年同期比10百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門の売上高は679百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

宴会部門

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、1組当たりの人数、単価とも増加したため前年を上回りました。一方、一般宴会におきましては、宴席件数の減少、1件当たりの出席人数が減少する傾向が続き、売上高は前年同期比41百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、好調な宿泊の影響もあり、朝食売上は順調に推移しましたが、一般宴会は前年を下回り、売上高は前年同期比8百万円減となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は817百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

レストラン部門

京都ホテルオークラでは、京料理「入舟」、カフェ「レックコート」、バー「チップペンデール」が順調に推移しましたが、中国料理「桃李」、鉄板焼「ときわ」が伸び悩んだため、売上高は前年同期比10百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、中国料理「桃李」、バー「アンカー」が伸び悩んだものの、お食事処「入舟」が順調に推移したことがあり、売上高は前年同期比横這いで終始しました。

この結果、レストラン部門の売上高は645百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

その他部門

その他部門の売上高は335百万円(前年同期比15.0%増)となりました。

主な増加要因は、前年7月にスタートした「サ・ガーデン岡崎」の売上が計上されたことと、京都ホテルオークラ別邸「粟田山荘」のランチ及び通販部門のレトルト食品「特製総料理長カレー」の売上が順調に推移したことによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第1四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	679,848	27.4	24.8
宴会部門	817,682	33.0	△5.8
レストラン部門	645,849	26.1	△1.5
その他部門	335,929	13.5	15.0
合計	2,479,311	100.0	5.0

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ250百万円減少し、18,750百万円となりました。負債につきましても、前事業年度末に比べ107百万円減少し、16,994百万円となりました。

また、純資産も前事業年度末に比べ143百万円減少し、1,756百万円となり、自己資本比率は9.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、現時点で業績に及ぼす影響を見積もることは困難であるため、平成26年2月13日公表しました予想値をほぼ達成可能とみていることから、修正は行っておりません。今後の経済状況や旅行者等の動向情報を収集した上で、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

役員退職慰労引当金

当社は、平成26年2月13日開催の取締役会において、平成24年12月31日をもって取締役の役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、平成26年3月27日開催の定時株主総会で取締役に対する退職慰労金の打ち切り支給案が承認されました。これに伴い、取締役に対する「役員退職慰労引当金」を取崩し、当第1四半期会計期間末現在の未払額29,809千円を固定負債の「長期未払金」として計上しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	397,665	331,743
売掛金	532,819	425,818
原材料及び貯蔵品	124,444	81,466
前払費用	82,248	90,615
繰延税金資産	49,968	93,693
その他	17,856	14,221
貸倒引当金	△121	△94
流動資産合計	1,204,880	1,037,465
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,900,956	11,766,018
構築物（純額）	120,052	116,152
機械装置及び運搬具（純額）	51,458	52,392
器具及び備品（純額）	315,536	300,080
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産（純額）	44,751	96,163
建設仮勘定	4,410	4,410
有形固定資産合計	17,508,506	17,406,558
無形固定資産		
ソフトウェア	46,208	43,018
リース資産	12,071	8,879
電話加入権	4,429	4,429
ソフトウェア仮勘定	3,360	19,564
無形固定資産合計	66,070	75,892
投資その他の資産		
投資有価証券	69,965	61,984
長期前払費用	58,114	46,619
差入保証金	59,297	71,210
繰延税金資産	22,191	39,275
その他	12,090	11,570
投資その他の資産合計	221,659	230,660
固定資産合計	17,796,236	17,713,111
資産合計	19,001,117	18,750,577

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	303,971	202,706
短期借入金	150,000	610,000
1年内返済予定の長期借入金	975,420	975,420
リース債務	19,422	22,187
未払金	542,221	595,831
未払費用	203,072	97,996
未払法人税等	12,914	6,020
前受金	51,961	50,784
預り金	71,493	45,379
前受収益	46,033	34,435
賞与引当金	-	49,770
その他	39,312	34,635
流動負債合計	2,415,822	2,725,167
固定負債		
長期借入金	13,635,512	13,195,657
リース債務	42,207	90,263
長期未払金	75,488	99,811
退職給付引当金	28,932	24,336
役員退職慰労引当金	46,457	3,219
長期預り保証金	857,064	855,564
固定負債合計	14,685,662	14,268,852
負債合計	17,101,484	16,994,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	969,000	969,000
資本剰余金		
資本準備金	210,304	210,304
資本剰余金合計	210,304	210,304
利益剰余金		
利益準備金	18,511	21,609
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	716,751	575,813
利益剰余金合計	735,262	597,423
自己株式	△25,471	△25,471
株主資本合計	1,889,096	1,751,257
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,536	5,300
評価・換算差額等合計	10,536	5,300
純資産合計	1,899,633	1,756,557
負債純資産合計	19,001,117	18,750,577

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高		
室料売上	536,492	657,519
料理売上	1,092,518	1,092,538
飲料売上	203,981	195,047
雑貨売上	122,321	134,709
その他売上	405,532	399,496
売上高合計	2,360,846	2,479,311
売上原価		
料理原料	322,315	334,587
飲料原料	43,135	42,082
雑貨原価	99,318	107,486
その他原価	77,650	70,571
原価合計	542,420	554,727
売上総利益	1,818,426	1,924,583
販売費及び一般管理費	1,865,916	1,997,946
営業損失(△)	△47,489	△73,363
営業外収益		
受取利息	11	11
補助金収入	-	940
受取手数料	1,021	1,012
その他	1,645	819
営業外収益合計	2,677	2,784
営業外費用		
支払利息	82,443	80,040
支払手数料	40,600	10,600
雑損失	472	468
営業外費用合計	123,516	91,108
経常損失(△)	△168,327	△161,687
特別損失		
固定資産除却損	14,932	2,009
特別損失合計	14,932	2,009
税引前四半期純損失(△)	△183,260	△163,696
法人税、住民税及び事業税	1,117	1,220
法人税等調整額	△67,420	△58,065
法人税等合計	△66,302	△56,844
四半期純損失(△)	△116,957	△106,851

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。